

令和3年度

白岡市立西小学校

聴導犬体験



第4学年

特色

- 総合的な学習の時間の「福祉の世界にふれてみよう～聴導犬体験を通して～」の学習として、社会福祉協議会の方の協力のもと、聴導犬を訓練している方を講師とし、聴導犬についての講演と体験を行っている。
- 聴導犬の役割や訓練の仕方、聴導犬や聴覚障害者へ接するときに配慮して欲しいことなど講演と体験を通して学ぶことができる。

児童生徒の感想

- 聴導犬の候補犬が、捨てられたり保護されたりした犬の中から選ばれることや、聴導犬が聴覚障害者の耳の代わりをするために、たくさん訓練や仕事をしていることに驚いた。
- 聴導犬は、暮らしの中で起きている様々な状況を把握し、聴覚障害者にしっかり伝えられる賢くて立派な犬なんだと感じた。
- 聴覚障害者の苦勞を知り、自分にもできることがあると思った。

成果

- 聴導犬体験を通して、聴導犬の役割や訓練等について理解を深めさせることができた。
- 聴導犬や聴覚障害者への接し方や配慮事項がわかり、聴覚障害者に対して「自分にできることは何か」考える機会を得られた。